

# 企画土木常任委員会資料

(平成21年5月21日)

## 【 報告事項 】

- 1 「日本のまつり・2009鳥取」のPR活動等について  
【文化政策課】・・・ 1ページ
- 2 第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット実務代表者  
会議の結果について  
【交流推進課】・・・ 2ページ
- 3 「春川Japan Week 2009」への参加について  
【交流推進課】・・・ 3ページ
- 4 ようこそようこそ鳥取県観光振興条例案骨子に係るパブリックコメン  
トの状況について  
【観光政策課】・・・ 4ページ
- 5 ようこそようこそ鳥取県キャンペーンの実施状況について  
【観光政策課】・・・ 5ページ

文化観光局

# 「日本のまつり・2009鳥取」のPR活動等について

平成21年5月21日  
文化政策課

「日本のまつり・2009鳥取」について、ゴールデンウィーク中に各地で開催された大規模集客イベントに参加し、PR活動を行いました。

また、5月1日(金)にボランティアセンターを開所し、ボランティアスタッフの募集を開始しました。

## 1 PR活動

### (1) 集客イベントへの参加によるPR

ア 第26回全国都市緑化おかやまフェア(西大寺南ふれあい公園(岡山市)、3/20~5/24)

実施日:4月26日(日)

内容:市町村の日ステージでしゃんしゃん傘踊り(鳥取市観光協会連)を披露  
会場内でチラシを配布

イ '09食博覧会・大阪(インテック大阪(大阪市)、4/30~5/10)

実施日:4月30日(木)

内容:ふるさとステージで因幡の傘踊り(因幡の傘踊り保存会)を披露  
鳥取県ブース前でチラシを配布

ウ 世界砂像フェスティバル(鳥取砂丘 オアシス広場(鳥取市)、4/18~5/31)

実施日:5月3日(日)

内容:イベントステージで伝統芸能の披露

倉農太鼓(県立倉吉農業高等学校)、荒神神楽(県立日野高等学校)、淀江さんこ節(淀江さんこ節保存会)、米子がいな万灯(米子がいな万灯振興会)

イベントステージ周辺でチラシを配布

### (2) 広告塔によるPR

県庁前広告塔への掲示(5月1日~10月11日)

(JR鳥取駅前広告塔:6/1~10/11、JR倉吉駅前・JR米子駅前広告塔:8/1~10/11)

## 2 ボランティアセンターの開所及びボランティアスタッフの募集

### (1) ボランティアセンターの開所

開所日:5月1日(金)

設置場所:企画部協働連携推進課内

コーディネート業務の委託先:NPO法人学生人材バンク

### (2) ボランティアスタッフの募集

募集期間:5月1日(金)から7月31日(金)まで

活動業務:会場案内、式典業務、催事補助、会場美化等

募集人員:200名程度

### <参考:日本のまつり・2009鳥取の概要>

開催期間:平成21年10月10日(土)~11日(日) ※10月9日(金) 前夜祭

主催:鳥取県、鳥取市、財団法人伝統芸能活用センター

会場	内容
とりぎん文化会館	高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等表彰式 県内外、海外の地域伝統芸能の公演 地域伝統工芸展、観光物産展
カ・コ・ラ ウェストスポーツパーク	県内外、海外の地域伝統芸能の公演、地域伝統芸能体験教室
駅前風紋広場	総合案内、公募型県民ステージ
若桜街道	前夜祭パレード、おまつりパレード、フィナーレパレード

第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット  
実務代表者会議の結果について

平成21年5月21日

交流推進課

モンゴル中央県において開催された「第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」実務代表者会議の結果を下記のとおり報告します。

記

1 実務代表者会議日程

- (1) 日時 平成21年4月27日(月)～28日(火)  
(2) 場所 モンゴル国ウランバートル市 「プマ・インペリアル」ホテル 会議室  
(3) 参加者 中央県 ラダナーセディン・ボルド官房長 他  
江原道 金洪柱(キム・ホンジュ)国際室長 他  
吉林省 蔡長清(ツァイ・チャンチン)外事弁公室副主任 他  
鳥取県 前田修文化観光副局長、寺坂環境立県推進課長 他  
※ ロシア沿海地方は欠席

2 会議結果

第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットについて、以下のとおりモンゴル中央県等において開催されることとなった。

(1) サミット本会議

- ア. 日時 7月23日(木) 9:30～12:30 各地域首長による基調講演・協議等  
18:00～19:00 共同宣言署名・記者会見  
イ. 会場 モンゴル中央県 「テレルジ」ホテル  
ウ. テーマ ・ 北東アジア地域における経済交流の活発化について  
・ 世界経済危機の克服に向けた相互協力について

(2) サミット関連事業

- ア. 北東アジア地方政府環境保護機関実務者協議会  
(ア) 時期 7月23日(木) 10:30～17:00  
(イ) 会場 モンゴル中央県 「チンギスハーン」施設 会議室  
※今回のサミットで初めて開催  
イ. マスコミ代表者会議  
(ア) 時期 7月23日(木) 9:30～12:30  
(イ) 会場 モンゴル中央県 「アル・フブチ」ホテル  
ウ. 北東アジア地域大学教授協議会  
(ア) 時期 7月21日(火) 時間未定  
(イ) 会場 モンゴルウランバートル市 「コンチネンタル」ホテル 会議室

(3) その他

- ・ 第13回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットにて開催された美術作品展、および経済会議は開催しない。

## 「春川 JAPAN WEEK 2009」への参加について

平成21年5月21日  
交 流 推 進 課

在大韓民国日本国大使館公報文化院が主催する韓国での日本文化紹介イベント「春川 JAPAN WEEK 2009」が、鳥取県と友好提携を結んでいる韓国江原道（春川市）で開催されます。

本県もこのイベントに出展し、江原道との交流パネル展や観光PR、環日本海貨客船航路の就航をPRするとともに、「米子がいな万灯振興会」が公演を行い、伝統芸能の祭典「日本のまつり・2009鳥取」をPRします。

### 記

1 催事名 春川（チュンチョン）JAPAN WEEK 2009

2 開催期間 平成21年5月18日（月）～24日（日）

### 3 参加事業等

#### (1) 鳥取県紹介展

ア 期 間 5月18日（月）～24日（日）、午前10時～午後7時30分

イ 会 場 春川市芸術文化会館

ウ 展示内容

- ・鳥取県と江原道との交流のあゆみ（今年は友好提携15周年）
- ・環日本海貨客船航路就航のPR
- ・「マンガ王国とっとり」を中心とした観光PR
- ・「日本のまつり・2009鳥取」開催のPR

#### (2) 米子がいな万灯公演

ア 参加団体 米子がいな万灯振興会（8名予定）

代表者：会長 鶴田陽介（つるた ようすけ）

イ 公演日程

公演日	公演時間	会場
5月23日（土）	午後5時30分～	南怡島（ナミソム）ナミマル
	午後7時～	南怡島（ナミソム）ナミマル
5月24日（日）	午後2時～	国立春川博物館入口付近
	午後9時～	サントリーニ野外公演場

<参考>がいな万灯は、平成20年9月に韓国ソウル市で開催された「日韓交流おまつり 2008 in Seoul」への参加実績あり。

#### (3) アトリエカワハラ「大山友禅染」の出品

ア 期 間 5月18日（月）～24日（日）、午前10時～午後7時30分

イ 会 場 春川市芸術文化会館

ウ 展示内容 アトリエカワハラ（川原栄次（かわはら えいじ）氏、川原かなよ氏）より大山友禅染が出品され、「日本の歳時展」で展示されます。

# ようこそようこそ鳥取県観光振興条例案骨子に係るパブリック コメントの状況について

平成21年5月21日  
観光政策課

「ようこそようこそ鳥取県観光振興条例（仮称）」（案）について、4月22日から5月11日までの間に行ったパブリックコメントの状況は、以下のとおりです。

## 1 意見の提出状況

- ・意見の数 33件
- ・提出者数 20名（メール6名、ファックス4名、郵送等10名）

## 2 意見の総括

- いただいた意見の大部分は、条例の設定を歓迎、肯定した上で、個別に重要な視点等を指摘されたもので、特に、観光振興のための様々な取組は県全体として皆が一緒になって取り組んでいくことや観光に関する学習の必要性、人材の育成、もてなしの向上などが大切であるとの意見であった。
- 一部、条例は不要、あるいは、条例よりも観光振興宣言とか運動（決意）の方が馴染みやすいとの意見もあった。

観光の振興は地域活性化のための重要施策。各地域では特色ある観光地づくりやもてなしの向上が図られつつあり、山陰文化観光圏の整備や山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟、国際観光の推進など県境、国境を越えた広域的な事業も推進中で、本県は大交流時代の幕開けを向えている。

このような状況のもと、県民の代表である議会の議決を得て、全県的に観光振興に取り組んでいくための柱となるような条例を設定したい考え。

## 3 主な意見と対応方針

意見の内容	対応方針
<b>【条例の名称】</b> ・子どもから高齢者までわかりやすく、インパクトのあるものが良い。	・親しみやすく、もてなしの気持ちを表すため、漢字だけでなく「ようこそようこそ」というフレーズを付けたところ。
<b>【観光推進の主体】</b> ・各取組の主体をあまり細分化せず、みんなで取り組んでいくという形にすべき。 ・官民連携や市町村も県と一緒に、という方向が大切。	・いただいた意見を踏まえ、可能な限り、各取組の主体を県民、事業者及び行政全体とした。
<b>【取組内容】</b> ・全県の統一的な取組が必要。 ・近隣府県との連携が重要。 ・観光ボランティアや地域リーダーの育成が重要。そのための支援も必要。 ・観光の重要性について、幼児、学童教育に積極的に取り入れること。 ・「もてなしの心」を育てることが大切。	・いただいた視点は条例に盛り込むとともに、個別具体の手法は条例に基づいて定めることとなる「取組指針」で検討していく。
<b>【その他】</b> ・短くてわかりやすいキャッチコピーが必要。 ・観光客のマナー保持を求めることも必要。 ・県民が観光客の方に鳥取県を簡単に紹介できる手帳のようなものを作成してはどうか。 ・観光客の増によるメリット（経済効果）を県民にアピールして欲しい。	・キャッチコピーやマナー保持等については、「取組指針」への盛り込みや個別の対応など適切な手法を検討していく。

## ようこそようこそ鳥取県キャンペーンの実施状況について

平成21年5月21日

観光政策課

### 1 ようこそようこそ近いぞ！鳥取県キャンペーン

#### (1) 趣旨

中国自動車道姫路鳥取線の部分開通と3月28日（土）からの高速道路料金の値下げによるマイカー利用による観光客誘致の促進

#### (2) オープニングイベント（3月28日）

道の駅清流河原等で、先着1,000名の方にプレゼント（鳥取カレー、おいり等）を配布

#### (3) 取組概要

取 組	内 容 等
観光施設の入場料免除 (3月28日・29日)	花回廊、夢みなとタワー等の4施設について入場料免除
観光施設でのプレゼント実施 (3月28日・29日、4月4日・5日)	山陰松島遊覧（岩美町）、お菓子の壽城（淀江町）等の11施設で先着500名にプレゼント
日帰り観光施設でのワンコイン入浴 (4月4日・5日・11日・12日)	気多の湯（浜村温泉）、ホットピア鹿野（鹿野温泉）等の7施設で入浴料をワンコイン100円に定額化

#### (4) キャンペーンの成果等

- ・ オープニングイベントが全国放送のテレビに取り上げられたほか、名古屋、大阪の新聞で取り上げられるなど、鳥取県の情報発信に繋がった。
- ・ 県外からの来訪者から、「鳥取県は遠いと思っていたが、意外と近かった」という声もあり、積極的に今後もPRしていく必要がある。

### 2 ようこそようこそまた来てね！鳥取県キャンペーン

#### (1) 趣旨

GWに鳥取県へやって来られた方々に、本県の観光魅力と高速道路の開通などで県外から鳥取県が身近になったことをアピールし、鳥取県への再来を呼びかける。

#### (2) オープニングイベント（5月2日）

県内観光地（鳥取砂丘、水木しげるロード等）で来訪者（3,000名）に、「また来てね！とっとり券」、「鳥取の銘水」等を配布

#### (3) 取組概要

取 組	内 容 等
優待割引パスポートの発行 (有効期間：5月2日～6月30日)	県内観光施設（79施設）で料金割引等が受けられるパスポートをオープニングイベント等で配布
また来てね！とっとり券の発行 (有効期間：8月20日～9月30日)	夏から秋にかけて利用できる観光施設（18施設）の無料入場券「また来てね！とっとり券」をオープニングイベントで配布

#### (4) キャンペーンの成果等

- ・ オープニングイベントでは、天候も良かったことから鳥取の銘水のプレゼントは非常に好評であり、鳥取県のイメージアップに寄与したと思われる。
- ・ 配布に当たり、キャンペーンの趣旨「また来て下さい」を伝えると、多くの方から「また来ます」という返事を頂けた。